

申の衣文字

暗より草の白く春の道 若水

むら咲や疎る櫛のかね炭 与竹

艸へのあを弾くや河柳 佳青

おと共にかたきあふり朧月 可未

ふしやや夕なをくしは江辺 路荃

沈くそ荒吹ぐらけふる水 古荒

山石より流す水も水まひけり 之嶋

えこのの勢を交りしゆら 荻重

いは隠れし繩乃くしゆら 左林

あまの梅はあはしやう川流 危萬

雲乃布枝の出截き初櫻 指翠

ふ通

春つゝくけり入るも能か神 か賀 奉遠

えあふそ花月の床や花うみ 車大

少哉握衣補